

ともしび保育園



2019年10月1日 発行



問題を乗り越える力を育むために



10月です。暑さもだいぶ和らぎ、一年で一番過ごしやすい季節になってきました。よく「〇〇の秋」という言い方をしますが、皆さん今年は何の秋にしたいと考えていらっしゃるでしょうか？近頃は地球温暖化の影響か、日本も四季の割合が崩れてきて、春や秋が短くなってきているような気がします。短い秋ですが、せっかく日本にいるのですから満喫したいですね。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて10月31日と言えばハロウィンです。今でこそ一般的に認知されているハロウィンですが、それもここ10年くらいの話で、それまではホラー映画かバンドの名前でかろうじて聞くくらいで、ほとんど知られていなかったように思います。

ハロウィンの起源は古代ケルト人の収穫祭と悪霊除けで、キリスト教の行事ではありません。（ですから保育園の行事にもなっていません）今では主にアメリカで、子どもたちが仮装して近所を回りお菓子をもらうというイベントになっており、それが日本にも入ってきています。楽しく盛り上がるのは良いですが、昨年の渋谷のように暴動になってしまうのはいけませんよね。ストレス発散の場が必要なのは分かりますが、大人なら分別を弁えてほしいところです。



大人だけでなく子どもたちにとって、日常的に発散ができる場や、それを受け止めてくれる人の存在はとても重要です。好きな遊びをすることで発散できることも多いですが、中には注意されるような行動や気になる行動が見られる場合もあります。保育者は目の前の好ましくない行動を止めたり注意するだけでなく、何故その子がそういうことをしたのか、その背景にある事柄を知ることにも努めます。そしてもし何か抱えていることがあるのなら、それを取り除くための方法を考えます。子どもたちと一緒に解決することもありますし、必要に応じてご家庭のご協力を頂く場合もあります。子どもがどうすることもできない大きなストレスはすぐにでも取り除かれるべきですが、小さなフラストレーションや葛藤は自分で乗り越えることができるよう保育者が寄り添います。



乳幼児期に大人が適切に関わることで、ある程度のストレス耐性や、問題を自ら解決する力の礎が築かれます。私たちは常に子どもたちの気持ちを汲み取り、受け止め、一緒に考え、成長をともにする存在でありたいと考えています。

園長 山田 英